

目的 月経が順調であることは健康のバロメータである。

本調査は家政科の女子学生を対象に基礎体温の測定を行った。自分の体を細かく観察することは健康管理の上で大切であると考えた。特に家庭科の教師は女子生徒から、健康上の相談を受けたりする機会が多い。生徒の指導、母性衛生、健康は家庭生活の基礎となると思われる。その際の一資料となることを目的として調査の結果を報告する。

方法 家政科の女子学生120名 家政科の女子短大生100名を対象として、4月上旬より10月まで約6ヶ月の期間行った。質問用紙を作成し、自己記入法で行った。また一部面接法にて内容を確認。記入する体温表は市販の婦人体温表を使用した。用具としては市販の婦人基礎体温計を使用

結果 11才の時に初潮を経験したものが多い。

月経周期は28日型が30%、次いで29日型、30日型の順。

期間は4～7日、出血の時間的変化のパターンには大きく五種類のパターンが確認された。この五種類の出血パターンは出血量との多少とも関係あることがわかった。月経随伴症状は自覚症状が多く、何らかの症状を経験している。